

## 「平成18年度ヒートアイランド対策技術分野 拡大ワーキンググループ会合」 におけるアンケート結果

### 1. 実施概要

- 平成19年2月7日に開催された、「ヒートアイランド対策技術分野 拡大ワーキンググループ」の出席者を対象に実施。
- 会場にて配布、会議終了後、退室時に回収。
- 配布数14件、回収13件（回収率92.9%）
- 設問項目は、以下の4点
  - ◇ 事業・技術への要望・意見
  - ◇ メリット向上のための要望・意見
  - ◇ 会合開催・運営に係る要望・意見・感想
  - ◇ その他

### 2. 結果概要

#### (1) 事業・技術への要望や意見

- アンケート結果から、本事業に対して大きな期待が寄せられていることが伺える。更なる展開方策として、他省庁との連携が望まれている。
- 一方、ヒートアイランド対策の全体像が見えていないとの意見もあり、対象技術選定の経緯について説明が不十分であることが伺える。
- 実証結果を公表する際、当該技術の採用を検討するための判断材料、評価方法が必要であるとの指摘が挙げられている。

- フォローアップ調査にて報告済みです。（空冷室外機）
- 今回の実証試験を是非とも、実りのあるものにしてください。個人住宅、ビルの違いで一般の方にはっきりと判る様に公表してください。（日射遮蔽フィルム）
- 「フィルム貼付は省エネに効果」という点を皆知っているか不明確。→実証試験で証明（物性値ベース）→判りやすい（皆に）評価デバイスの開発が急務。例：EN356、飛散防止→普及に要。
- 有意義な事業です。窓用フィルムの熱遮蔽効率をもっと一般に知らしめるよい機会です。（日射遮蔽フィルム）
- 会議中にお話しさせていただいた通りです。大変期待しております。（日射遮蔽フィルム）
- ありがとうございます。是非、フィルムがお客様へ提供するいろいろなメリットからも見て、検討をお願いします。できるだけフィルムを活用していただき、環境にやさしい部屋にしたいと思います。（日射遮蔽フィルム）
- 非常に有用な事業と考えます。今後とも、ぜひ継続していただきたいと思います。（実証機関）
- 実証結果の公開方法が、当該技術採用検討にあたっての指針（判断材料）として使える形であることを望みます。（その他）

- ヒートアイランド対策の全体像が見えません。その中で、この2件がモデル事業に上った経緯がわかりません。ほかの事業の予定はあるのでしょうか。(その他)
- すばらしい実証なので是非、各省庁の横展開をのぞみます。(その他)

## (2) メリット向上に係る要望・意見

- 地球温暖化対策技術として、広く国民に認知されるよう普及啓発を進めて欲しい、実証ではなく認証して欲しいとの意見が挙げられている。
- 地球温暖化対策技術として、国民一人一人、認知されるよう働きかけてほしい。(空冷室外機)
- 一般への技術の啓蒙に役立ちます。(日射遮蔽フィルム)
- 実証と認証の違いがよくわかりました。さらに周知できるように望みます。(実証機関)
- 認証してください。(その他)

## (3) 会合開催・運営に係る要望・意見・感想

- ヒートアイランドを改善しようという意識が感じられなかったとの指摘が挙げられている。
- 大変役立ちました。ありがとうございました。(日射遮蔽フィルム)
- 参加者の、ヒートアイランドを改善しようという意識が感じられなかった。(その他)

## (4) その他

- 他省庁の関連した研究開発等との連携について意見が挙げられている。
- ヒートアイランド対策、地球温暖化防止の両方に役立つ技術ではなく、ヒートアイランド対策ならではの課題に着目すべきとの意見が挙げられている。
- 当該事業は環境省独自のものと認識しますが、他省等に実証ではありませんが関連した研究開発等が行われているものと存じます。他省との連携も視野に入れていただければと存じます。(実証機関)
- ヒートアイランドならではの課題をテーマアップすべきと思う。地球温暖化とは、技術的に両方に効果があるものも多いが、ヒートアイランド対策ならではの技術の使い方があると思う。(その他)

(以上)